

2. 目 標 達 成 計 画

事業所 グループホーム玉里

作成日 令和 2年 11 月 11日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	職員其々で異なるが利用者との会話を対等言葉で接している職員がいる。	利用者様へ敬いの気持ちを抱え接することが大事であり、敬語対応を大切にする。	管理者が注意喚起を促したり、生活する中で良好なコミュのケーションを摂るよう指導する。	3か月
2	1	理念を認識はしているが暗唱できる職員は稀有。職員全員暗記できる程理念を周知する。	今の時代にマッチした理念に一部改変する必要。そのことも含め、今後は職員暗唱できることを目標としたい。	ミーティングや朝夕の申し送り時等唱和する。そのことで暗記できたらベストである。	3か月
3	3	新型コロナ禍のため実践されていない。	義務付けられている二か月に一度の開催を何らかの手段を用い実践する。	電話等のツールを用い委員の意見を受け取り意見をまとめ議事録を作成し、各委員に送付する。	6か月
4	5	新型コロナ禍により身体拘束適正化委員会が機能していない。	何らかの形で復活し、常習化する。	暫くの期間は電話や手紙等で通信し、議事録をまとめる。また、環境が整い次第復活させる。	6か月
5	18	新型コロナ禍の影響で外出がほとんど実践されない。	アウトドアでの人との関り、接触が許されない現状であるが、ドライブや散歩を核に外出を励行する。	ドライブの場合、事故を考慮し、運転に関わることは管理者依存とする。	3か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。